

HOW TO INTRODUCE JAPAN ～外国人の友達を作ろう～

LC 英語 A 班 法元 和也 矢坂 日奈子
指崎 祥一朗

①はじめに

私たちは国際化していくこの現代のなかで、外国人と友達になりたいと思いました。そこで、どのようにすればこれが実現できるか考えた結果、日本のことを紹介する、日本のことを話すことで、友達になれるのではないかと考えました。

そこから私たちは、米国と中国と韓国の三国に日本の紹介などをするには、どのようなテーマにすればよいかを、アンケートを取りながら調べていきました。

(「友達になる」の定義は、「連絡先を交換できる」「気軽に会話ができる」というようにします。)

②研究の過程

- (1) 高津高校 2 年 1 組から 4 組の生徒 160 人に、「外国人に何か一つ日本の事柄の紹介をするなら、何を選択するか」というアンケートを取る。
- (2) 高津高校英語科教員 Steven Babkirk ならびに Steven(不明)の知人の米国人 22 名と、メリック日本語学校の中国人と韓国人生徒のそれぞれ 18 名・12 名に協力をいただき、「あなたの国で有名である、人気であるものは何ですか」というアンケートを取り、(1)で実施したものと比較する。
- (3) 比較したアンケートから日本人が紹介したいものと、三国の人たちにとって人気であるものに違いがあるのかを調べ、紹介のテーマや方法を探っていく。

③仮定

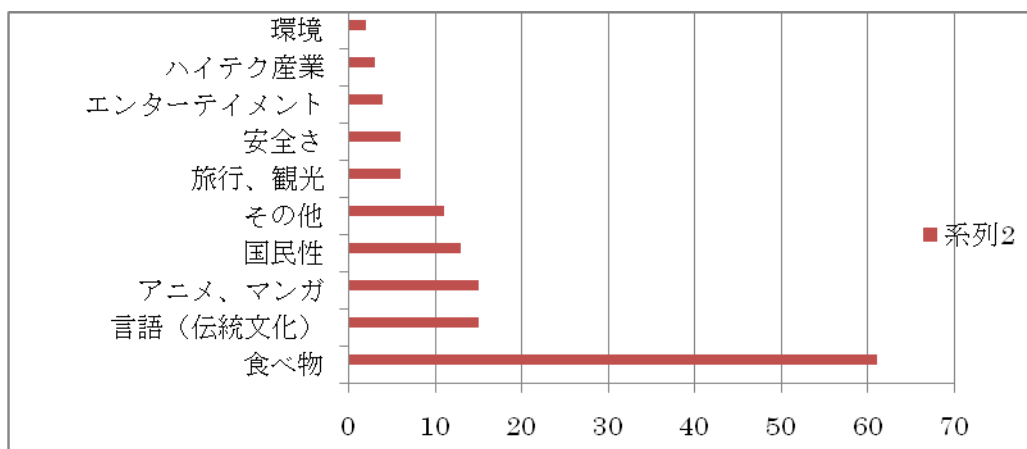
私たちは、日本人が紹介したいものと三国で人気のあるものは違い、さらに三国ごとでそのテーマが変わっているのではないだろうかとは仮定した。

④結果、紹介、反省、考察

高津生と外国人へのアンケートを比較した結果、仮定とは反して、日本人が紹介したいものと現地で有名であるものは一緒に更には、どの国

外国人へのアンケート	1 位	2 位
アメリカ	食べ物	アニメ
中国	アニメ	食べ物
韓国	アニメ	食べ物

でも一緒のものが人気の対象になっていた。



高津生を対象としたアンケート結果

友達になるにあたって

米国人とは、班員の一人があるゲームのボイスチャットを通じて日本のアニメ、お寿司の話をしたところ、24人中21人が興味をもってチャットに参加し、さらにその中の11人と連絡先を交換することができたという。

また中国、韓国ではそれぞれ「日本で放送されている、中国の小説が原作のアニメ」「韓国と日本のおでんの違い」という各国共通の話題を作り、実際に気軽に話せる仲になれるようなシミュレーションを試みたが、実際に中国人、韓国人と話せていなく成功するかどうかはわからない。

反省

アンケートを取った外国人の数が少なく、データへの信ぴょう性が少し薄れてしまった。調査の段階をもっとスムーズにして、数を取りたかった。

課題

今回は、実際に会話をして友達になるというシミュレーションやアクションを起こしてみたが、実際の場合は言葉の壁があるのではないだろうか。この言葉の壁をなくすためにどうすればいいかを探りたい。さらに話しかけることには勇気が必要で、その勇気を引き出す方法もまた同様に見つけていきたい。

また、映像などいくつかの媒体で紹介をする方法があり、どれが実際に一番わかってもらえるかを調べたい。